

「男女でつくる元気な和歌山」ポスターコンクール 最優秀賞作品

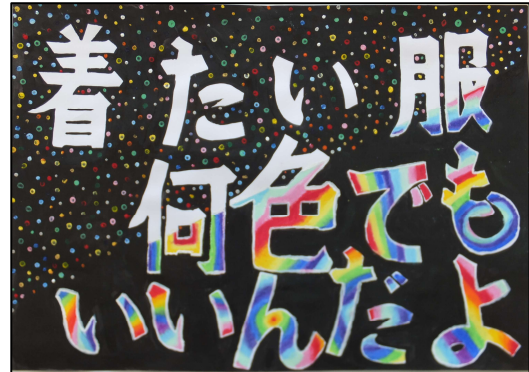
☆ 小学生低学年の部



ぬのめ ゆい さん
(和歌山大学教育学部附属小学校 2年)

私のお母さんは、フルタイムではたらい
ているので、かぞくみんなできょうかし
て、かじをしています。お父さんは、せ
んたくもそうじもりょうりもなんでも
できます。

☆ 小学生高学年の部



つたすみに りお さん
(和歌山大学教育学部附属小学校 5年)

私はこの標語を見て、たくさんある色
の中で自分の本当に好きな色を選んで着
ることは難しいのかもしれないと思いま
した。なので、絵の中で好きな色を選んで
着ることをたくさん色を使って表現し
ました。

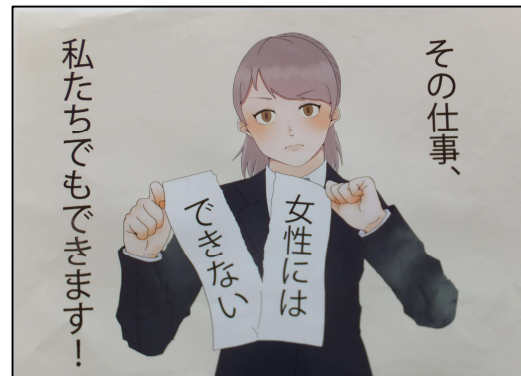
☆ 中学生の部



すぎの りおん さん
(田辺市立明洋中学校 3年)

男女関係のない職業の事を意識して、そ
れが見た人に伝わるように描いた。

☆ 高校生の部



さかい なな さん
(和歌山市立和歌山高等学校 2年)

社会において、「女性にはできない」「女
性がするのはおかしい」という根拠のな
い性差別がまだ根強く残っていると思っ
たので、このポスターを描きました。偏
見や差別に負けないような、たくましい
女性をイメージしました。